

## 環境取組は企業の社会的責務との認識 — 日常の節制行動から企業の商品・サービスへ

### ● 調査結果のポイント

#### ① 消費者の環境行動

- 環境取組み積極層は高年収の傾向があり、今回は前回よりも年収差が広がった
- 日常生活での環境取組みは震災以降低下傾向だが、省エネ家電・LED照明の人氣が増加している(企業が提供する商品・サービスへ移行の様相)

#### ② 住宅取得時の環境意識

- 経済メリットを有する環境配慮設備は人氣が高く、訴求効果を有する
- 環境設備によるコスト上昇にはシビアだが、一定の理解ある層も存在しており、ニーズに対応した商品展開要

#### ③ オフィスに関する環境意識

- ビル選定決裁者には経済メリットの有る環境配慮設備が訴求する
- 自然(光・緑・風)の活用がビルの魅力度向上につながる

#### ④ 商業施設・リゾートホテル利用者の環境意識

- 環境配慮取組は社会的責務として認識が定着し、必要不可欠となっている
- リピーターの顧客満足度向上にも影響し、施設魅力度UPにつながる

### ● 調査概要

- 対象 首都圏・近畿圏・札幌市在住の20歳以上の男女 23,123名
- <住宅> 過去1年以内の住宅建設/購入者及び  
          今後5年以内の計画保有者 1,000名
- <オフィスビル> オフィスビル選定に決裁権有り 490名(首都圏・近畿圏のみ)  
                      オフィスビル選定に決裁権有り 510名(同上)
- <商業施設> 半年に一度以上の利用者 1,000名(同上)
- <リゾートホテル> 過去2年間の利用者 1,000名(同上)
- 手法 インターネット調査
- 実施 2013年11月22～25日

### ● 本件に対するお問合せ

東急不動産次世代技術センター 担当:鈴木、大森

住宅取得や施設利用  
(オフィスビル、商業施設、リゾートホテル)  
における消費者の環境意識調査  
第3回

2014年7月

株式会社 東急不動産次世代技術センター

# 1. 環境問題への取組み態度 ①分布

- 前年と比較すると、「積極派」及び「ある程度」が共にわずかに下がった。
- 各調査別では、オフィスビル調査(決裁者)が積極派が21%で他よりかなり高い。  
住宅も「取組・計」(積極派+ある程度)で前年より微減だが、比較的高い。

SC6 あなたは、環境問題に対してどの程度取り組んでいますか。(SA)

調査対象	n	取組み態度 (%)				取組・計 (積極+ある程度)	【2012年】 取組・計 (積極+ある程度)
		積極派	ある程度	消極派	取り組まず		
2011年	(n=28,106)	5.2	54.5	32.7	7.6	59.7	
2012年	(n=26,759)	5.1	51.8	34.5	8.6	56.9	
2013年	(n=23,123)	4.6	48.6	36.4	10.4	53.2	
住宅	(n=1,000)	9.5	55.5	28.7	6.3	65.0	66.6
オフィスビル (ワーカー)	(n=510)	6.5	48.4	34.5	10.6	54.9	56.6
オフィスビル (決裁者)	(n=490)	21.0	50.6	22.9	5.5	71.6	-
商業施設	(n=1,000)	4.3	49.4	38.1	8.2	53.7	54.3
リゾートホテル	(n=1,000)	5.8	52.7	33.4	8.1	58.5	62.7

\* 前回より札幌居住者の割合が高いが、それによる大きな影響は無いと思われる(住宅一首都圏・関西共に前年よりP↓)

# 1. 環境問題への取組み態度 ②取組み態度と消費者特性の相関

■「積極派」は全体に比べて1割以上年収が高い。前年よりも年収差が広がっている。  
また、男性が多く、平均年齢が高い。持家率が高く、管理職が多いこともあり、高年収。

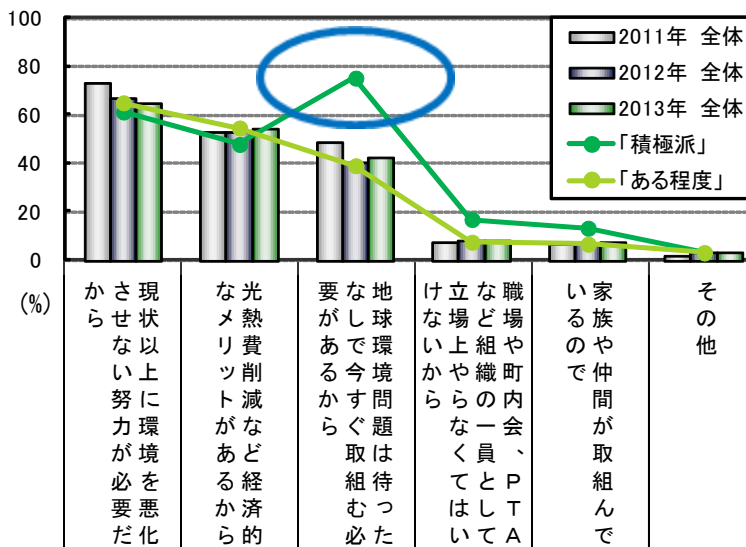
		全体	「積極派」 積極的に取組む	「ある程度」 ある程度取組む	「消極派」 あまり取組なし	「取組まず」 全く取組なし	2012全体	2012「積極派」 積極的に取組む
		n=23,123	n=1,065	n=11,245	n=8,413	n=2,400	n=26,759	n=1,356
n=23,123	性別	男性:女性 49.1 : 50.9	56.9 : 43.1	47.4 : 52.6	48.5 : 51.5	56.1 : 43.9	52.9 : 47.1	61.9 : 38.1
	年齢	平均 45歳 45歳～比率 51.7%	48.01歳 59.4%	47.63歳 58.3%	43.63歳 45.8%	41.34歳 38.6%	45.23歳 50.2%	47.84歳 58.6%
	地域	首都圏:近畿圏:札幌市 53.6 : 25.2 : 21.1	56.7 : 24.7 : 18.7	54.8 : 24.4 : 20.7	52.3 : 25.8 : 21.8	51.4 : 27.7 : 21.0	68.5 : 30.4 : 1.0	67.6 : 30.8 : 1.6
n=4,000	住宅	持家率 (うち一戸建て) 57.7% (36.8%)	68.5% (47.1%)	64.0% (40.9%)	51.7% (32.5%)	44.0% (28.5%)	59.8% (38.1%)	69.0% (48.2%)
	家族	平均人数 2.8人 単身比率 16.2%	2.9人 21.1%	2.8人 14.6%	2.8人 16.4%	2.7人 20.2%	2.81人 17.2%	3人 14.8%
	職業	会社員 (うち管理職) 37.8% (12.0%)	50.3% (19.3%)	35.8% (11.8%)	37.1% (10.5%)	40.4% (11.1%)	43.3% (12.3%)	45.8% (15.5%)
	年収	平均 758.4万円 1000万円～比率 18.2%	882.3万円 27.0%	769.2万円 19.0%	729.1万円 15.1%	670.4万円 14.4%	718.3万円 16.1%	810.3万円 22.8%

# 1. 環境問題への取り組み態度 ③取り組んでいる理由

- 環境問題に取り組む理由の第1位は3年連続「現状以上に環境を悪化させない」(65%)。
- 「積極派」は「待ったなしで今すぐ取り組む必要がある」という危機意識で、全体より30ポイント以上差がついた。

SC7 「取り組んでいる」理由をお知らせください。(MA)

<環境問題に取り組んでいる人ベース>  
「積極派」+「ある程度」



		(n)	か ら せ な い 上 に 努 力 が 必 要 だ	な メ リ ツ ト が あ る か ら	要 な 地 球 が あ る か ら	け な い か ら	職 場 な り の 内 員 と 一 起 で	い る 家 族 の 仲 間 が	そ の 他
2011年 全体		(n=16,768)	73.0	53.1	48.5	7.4	6.4	1.5	
2012年 全体		(n=15,222)	67.1	52.6	40.4	7.8	6.9	3.4	
2013年 全体		(n=12,310)	64.6	54.0	42.1	8.2	7.1	3.0	
地 域	首都圏	(n=6,765)	65.8	52.7	44.7	8.4	7.2	3.2	
	近畿圏	(n=3,013)	63.2	52.8	40.3	8.7	7.0	2.6	
	札幌市	(n=2,532)	63.2	59.1	37.5	6.9	7.1	3.2	
態 取 度 組	「積極派」	(n=1,065)	61.2	47.8	75.2	16.8	13.2	2.9	
	「ある程度」	(n=11,245)	65.0	54.6	39.0	7.4	6.6	3.1	

# 1. 環境問題への取組み態度 ④日常生活での実践

- 「節水」・「油・食べかす処理」・「こまめな消灯等」等日常の節制行動が、調査開始時(2011年)より実践率が低下。
- 「LED照明購入」・「省エネ家電考慮」等の省エネ商品は2011年からの上昇幅が比較的大きい  
特にLED照明は、2011年と比較すると15ポイント上昇し、5割に迫る勢い。

(実践・計:常に+できる限り)

SC5 あなたは、日常の暮らしの中で環境問題に対してどのようなことを行っていますか。(SA)

	(n=23,123)	(n=26,759)		(n=28,106)
	2013年	2012年	前年差	2011年
	実践・計	実践・計	実践・計	実践・計
	78.9	76.7	↑2.2	78.3
	75.0	76.8	↓-1.8	77.5
	74.7	75.7	↓-1.0	75.0
	70.0	72.9	↓-2.9	72.3
	58.0	58.3	↓-0.3	53.8
	53.1	54.6	↓-1.5	52.9
	47.4	41.0	↑6.4	32.3
	46.9	50.7	↓-3.8	45.9
	27.3	29.0	↓-1.7	26.5
	22.3	24.1	↓-1.8	20.3
	12.7	14.0	↓-1.3	11.1
	10.2	11.3	↓-1.1	9.4
	10.0	11.7	↓-1.7	9.6
	9.8	10.5	↓-0.7	7.9
	8.0	8.6	↓-0.6	6.1

節水、節電

消費行動

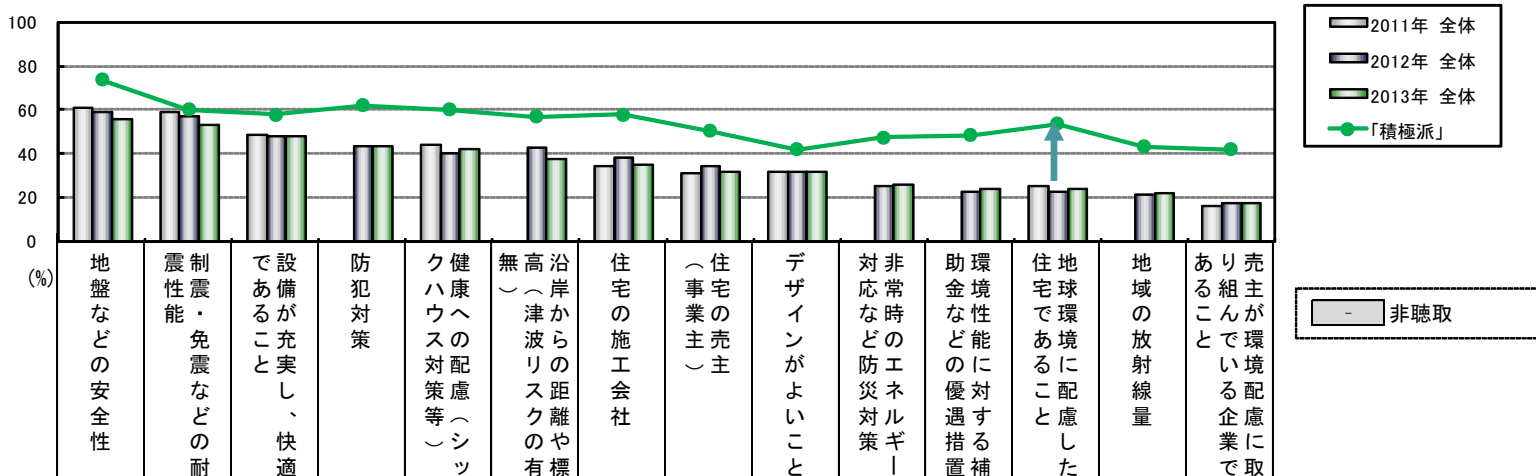
社会的活動

(%)	常に実践	できる限り	時々	あまりしていない	全くしていない
レジ袋の削減などゴミの減量や、ゴミの分別を徹底する	30.3	48.6	11.9	6.2	3.0
シャワーや水道を流しっぱなしにしない、風呂の残り湯を利用するなど日常生活において節水に努める	29.0	46.0	14.1	7.9	2.9
油や食べかすなどを排水口から流さない	32.2	42.5	13.1	9.0	3.3
空調の温度設定を緩めたり、コンセントを抜く、照明をこまめに消すなど節電に努める	24.1	45.9	17.9	9.0	3.1
家電製品を購入する際に省エネ性能を考慮して購入する	15.6	42.4	23.3	13.2	5.5
なるべくマイカーを使わずに徒歩、自転車や公共交通機関を利用する	26.1	27.0	20.4	16.9	9.5
電球を購入するときはLED照明を選ぶ	16.6	30.8	15.7	18.4	18.5
古紙・牛乳パックのリサイクルや裏紙の利用、再生紙などのリサイクル商品を購入する	15.8	31.1	26.6	18.5	8.1
洗剤は環境に配慮したものを使うようにしている	6.1	21.2	29.0	28.8	14.9
できるだけ無農薬やオーガニックな農産物を購入する	4.3	18.0	29.3	30.4	18.1
職場や地域のリサイクル活動や緑化、美化活動などの環境保全活動に参加する	2.8	9.9	16.9	24.5	45.9
企業の環境への取り組みをチェックするようにしている	2.1	8.1	18.9	28.2	42.7
環境保全のための募金活動に協力している	2.0	8.0	19.2	26.7	44.1
職場や地域での環境についての勉強会等に参加する	2.2	7.6	14.0	24.2	51.9
企業の環境への取り組みを促進させるための金融商品(エコファンド等)を利用する	1.8	6.2	13.9	23.9	54.2

## 2. 住宅 ①購入における重視項目

- 前年に引き続き、「地盤などの安全性」「耐震性能」等“建物の安全性”に関わるものが上位となっているが、2011年の調査開始時から減少傾向。
- 「環境性能への補助金」「環境配慮住宅」等が前年より僅かだが増加している。
- 「環境配慮住宅」を重視する人は、全体では24%であるが、「積極派」では5割を超える(51→54%)。

AQ2 住宅を購入(建築)するとき、どの事柄を重視しますか。／「重視する」と回答した割合



項目	2011年 全体	2012年 全体	2013年 全体	「積極派」	首都圏	近畿圏	札幌市	男性	女性
地盤などの安全性	(n=1,000) 61.2	(n=1,000) 59.2	(n=1,000) 55.9	(n=95) 73.7	(n=622) 58.2	(n=246) 51.2	(n=132) 53.8	(n=530) 51.9	(n=470) 60.4
震性能・免震などの耐震性能	59.3	57.7	53.2	60.0	54.5	49.6	53.8	50.4	56.4
設備が充実し、快適であること	49.2	48.0	48.2	57.9	46.9	50.0	50.8	45.8	50.9
防犯対策	-	43.6	44.0	62.1	42.8	48.0	42.4	37.9	50.9
健康への配慮等(シックハウス対策等)	44.6	40.2	42.4	60.0	42.0	43.9	41.7	36.0	49.6
高津波からの距離の有無	-	42.8	38.2	56.8	40.7	38.6	25.8	35.5	41.3
沿岸からの距離や標高	34.9	38.7	35.1	57.9	35.0	35.0	35.6	34.3	36.0
住宅の施工会社(事業者)	31.1	34.9	32.0	50.5	31.8	33.7	29.5	30.6	33.6
デザインがよいこと	31.9	32.2	31.9	42.1	31.8	33.7	28.8	26.8	37.7
非常時の防災対策	-	25.8	26.0	47.4	27.5	24.0	22.7	23.0	29.4
環境性能に対する補助金などの優遇措置	-	23.2	24.3	48.4	24.0	25.2	24.2	23.2	25.5
地球環境に配慮した住宅であること	25.6	23.0	24.0	53.7	24.1	26.4	18.9	20.6	27.9
地域の放射線量	-	21.6	22.3	43.2	23.8	21.1	17.4	18.7	26.4
売主が環境配慮企業に取組んでいること	16.7	17.6	17.5	42.1	16.4	19.9	18.2	14.7	20.6

## 2. 住宅 ②環境重視度とユーザー特性の相関

- 「環境配慮住宅」の「重視・計」(重視する+まあ重視する)は68%で、2011年から減少傾向。
- 50代以上では「重視・計」が74%(前回79%)と、他の年代と比較して高い。
- 積極派では、「重視・計」が9割(前回92%)を超える。

AQ2\_7 住宅を購入(建築)するとき、地球環境に配慮した住宅であることを重視しますか。



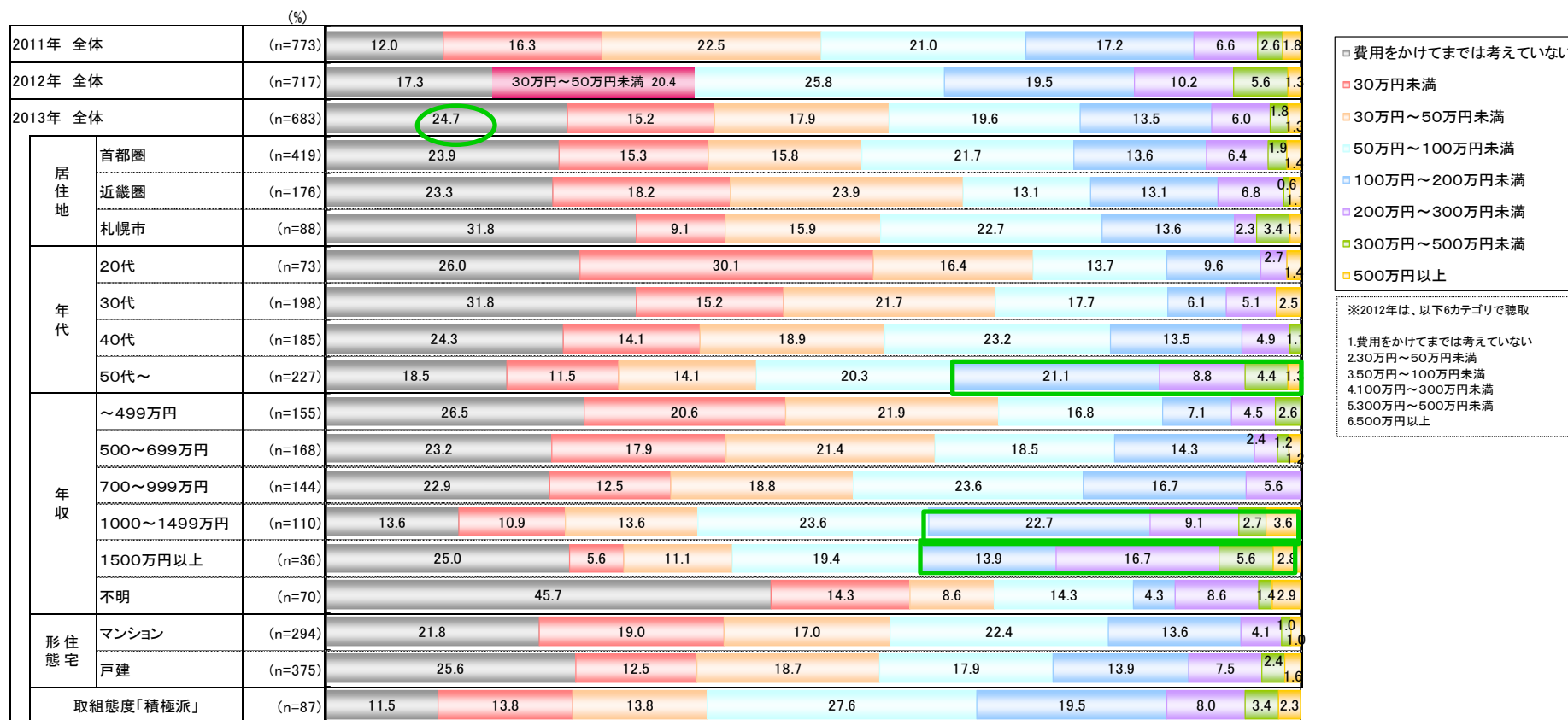
2013年 全体  
重視・計

## 2. 住宅 ③環境配慮に対する価格上昇許容度

- 環境配慮に対して「費用をかけてまでは考えていない」が2011年より増加傾向で25%。
- 年代が高くなるにつれ、価格許容額は上昇する。
- 「50代以上」や「年収1000万円以上」は3割以上100万円以上の価格上昇を許容できる。

### <環境配慮住宅重視者ベース>

AQ3 「環境配慮」による価格の上昇はどのくらいまでとお考えですか。(SA)

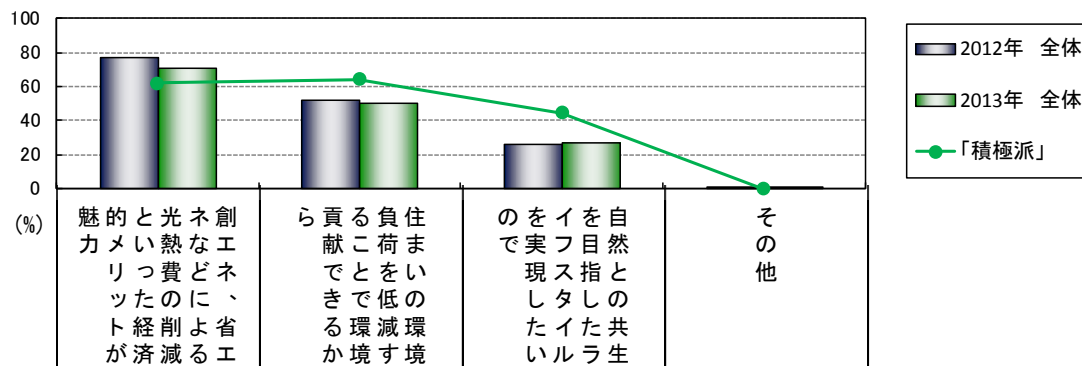


## 2. 住宅 ④環境重視の理由

- 環境重視の理由は、「経済的メリットが魅力」(71%)が最も高いものの、前年比で7ポイント減少している。
- 「積極派」は、「経済メリット」では全体を下回ったが、「自然との共生を実現したい」で18ポイントの大きな差がつき、経済性以外でも環境に動機づけを持っている。

AQ4 「環境配慮」を重視する理由をお聞かせください(MA)

<環境配慮住宅重視者ベース>



		(n)	(%)	(%)	(%)	(%)
2012年 全体		(n=717)	77.5	52.3	26.5	0.7
2013年 全体		(n=683)	70.9	50.4	27.2	0.3
取組態度 「積極派」		(n=87)	62.1	64.4	44.8	0.0
居住地	首都圏	(n=419)	72.3	53.0	27.4	0.2
	近畿圏	(n=176)	64.8	50.6	25.6	0.6
	札幌市	(n=88)	76.1	37.5	29.5	0.0
性別	男性	(n=342)	69.0	55.6	29.5	0.6
	女性	(n=341)	72.7	45.2	24.9	0.0
年代	20代	(n=73)	67.1	53.4	17.8	0.0
	30代	(n=198)	67.7	45.5	25.3	0.0
	40代	(n=185)	70.3	55.1	22.7	0.5
	50代~	(n=227)	75.3	49.8	35.7	0.4
世帯年収	~499万円	(n=155)	71.6	42.6	34.8	0.0
	500~699万円	(n=168)	68.5	54.8	22.0	0.0
	700~999万円	(n=144)	70.8	50.0	27.1	0.0
	1000~1499万円	(n=110)	72.7	50.0	24.5	0.9
	1000万円以上	(n=36)	80.6	66.7	33.3	0.0
	不明	(n=70)	67.1	50.0	24.3	1.4

### 3. オフィスビル ①オフィスの環境配慮への意見／社会的責任として取り組むべき

- ワーカーも決裁者共に環境配慮に積極的に取り組むべき」に賛同(そう思う+まあ)が9割前後と高い数字。事業者に対しては高い意識を求めている
- 40代、50代の世代は、賛同が比較的多い。

BQ6\_1 オフィスビルへの意見/ビルオーナーは社会的責任として「環境配慮」に積極的に取り組むべきだと思う(SA)

		(%)				・ そ う 思 う	
		■ そう思う	■ まあそう思う	■ あまり思わない	■ 全く思わない		
2011年 全体		n=(17804)	29.9	60.0	8.6	1.5	89.9
2012年 全体		n=(1000)	26.9	61.2	9.6	2.3	88.1
2013年 ワーカー全体		n=(510)	24.5	63.3	10.0	2.2	87.8
地 勤務	首都圏	n=(383)	25.1	62.9	10.2	1.8	88.0
	近畿圏	n=(127)	22.8	64.6	9.4	3.1	87.4
階 数	～10階	n=(316)	23.4	64.6	10.4	1.6	88.0
	11～20階	n=(113)	25.7	60.2	11.5	2.7	85.9
	21階以上	n=(81)	27.2	63.0	6.2	3.7	90.2
性 別	男性	n=(378)	23.0	63.5	11.1	2.4	86.5
	女性	n=(132)	28.8	62.9	6.8	1.5	91.7
年 齢	20代	n=(30)	20.0	60.0	13.3	6.7	80.0
	30代	n=(106)	18.9	60.4	16.0	4.7	79.3
	40代	n=(178)	24.2	65.7	3.0	0.6	89.9
	50代～	n=(196)	28.6	63.3	6.6	1.5	91.9
年 収	～499万円	n=(136)	23.5	59.6	12.5	4.4	83.1
	500～699万円	n=(111)	19.8	73.0	6.3	0.9	92.8
	700～999万円	n=(118)	25.4	61.0	12.7	0.8	86.4
	1000～1499万円	n=(70)	31.4	61.4	5.7	1.4	92.8
	1500万円以上	n=(20)	20.0	75.0	0.0	5.0	95.0
態 度	「積極派」	n=(55)	27.3	56.4	4.5	1.8	83.7
2013年 決裁者全体		n=(490)	33.5	58.4	3.0	3.0	93.9
地 勤務	首都圏	n=(352)	34.1	58.0	6.1	2.0	91.9
	近畿圏	n=(138)	31.9	59.4	6.5	2.2	92.1
階 数	～10階	n=(350)	31.7	59.7	7.1	1.4	91.4
	11～20階	n=(76)	31.6	63.2	2.9	2.6	94.8
	21階以上	n=(64)	45.3	45.3	4.7	4.7	90.6
態 度	「積極派」	n=(103)	58.3	35	1.9	4.9	94.8

※2011年は、スクリーニング調査において、オフィスビル非就労者も含めて全員に聴取した。オフィスビル就労者にベースダウンし、再集計したスコアを掲載。

2013年  
ワーカー全体  
そう思う・計

### 3. オフィスビル ②オフィスビルの環境配慮への意見／取組んでいるビルであれば賃料が高くてよい

- ワーカーの「取組がなされているビルであれば賃料が少し高くてもよい」に賛成(そう思う+まあ)は、44%にとどまる。年齢が上がるにつれ賛成が増加。また、21階以上の賛成は58%で前回37%を大きく上回る
- 決裁者は、賛成が56%でワーカーより12ポイント高く、賃料への反映について理解は比較的高い階数が21階以上では、そう思う(TOPBOX)が比較的高く、3割を超えた。

BQ6\_3 オフィスビルへの意見／先進的な取組がなされているビルであれば賃料が少し高くてもよいと思う(SA)

		(%)				・ そ う 思 う	
		■ 8.5	■ 37.5	■ 43.6	■ 10.5		
2011年 全体		n=(17804)	8.5	37.5	43.6	10.5	46.0
2012年 全体		n=(1000)	8.5	34.9	45.2	11.4	43.4
2013年 ワーカー全体		n=(510)	5.9	38.0	45.1	11.0	43.9
地 勤務	首都圏	n=(383)	6.3	37.6	46.2	9.9	43.9
	近畿圏	n=(127)	4.7	39.4	41.7	14.2	44.1
階 数	～10階	n=(316)	4.4	38.9	46.8	9.8	43.3
	11～20階	n=(113)	7.1	28.3	50.4	14.2	35.4
	21階以上	n=(81)	9.9	48.1	30.9	11.1	58.0
性 別	男性	n=(378)	6.9	36.8	45.0	11.4	43.7
	女性	n=(132)	3.0	41.7	45.5	9.8	44.7
年 齢	20代	n=(30)	3.3	30.0	46.7	20.0	33.3
	30代	n=(106)	3.8	33.0	44.3	18.9	36.8
	40代	n=(178)	6.2	39.3	44.9	9.6	45.5
	50代～	n=(196)	7.1	40.8	45.4	6.6	47.9
年 収	～499万円	n=(136)	5.1	31.6	45.6	17.6	36.7
	500～699万円	n=(111)	2.7	50.5	39.6	7.2	53.2
	700～999万円	n=(118)	6.8	31.4	53.4	8.5	38.2
	1000～1499万円	n=(70)	11.4	44.3	31.4	12.9	55.7
	1500万円以上	n=(20)	5.0	40.0	45.0	10.0	45.0
態 度	「積極派」	n=(55)	5.5	34.5	54.5	5.5	40.0
2013年 決裁者全体		n=(490)	16.1	40.0	32.2	11.6	56.1
地 勤務	首都圏	n=(352)	16.2	39.2	31.5	13.1	55.4
	近畿圏	n=(138)	15.9	42.0	34.1	8.0	57.9
階 数	～10階	n=(350)	12.3	38.9	36.6	12.3	51.2
	11～20階	n=(76)	21.1	47.4	27.6	3.9	68.5
	21階以上	n=(64)	31.3	37.5	14.1	17.2	68.8
態 度	「積極派」	n=(103)	40.8	37.9	14.6	6.8	78.7

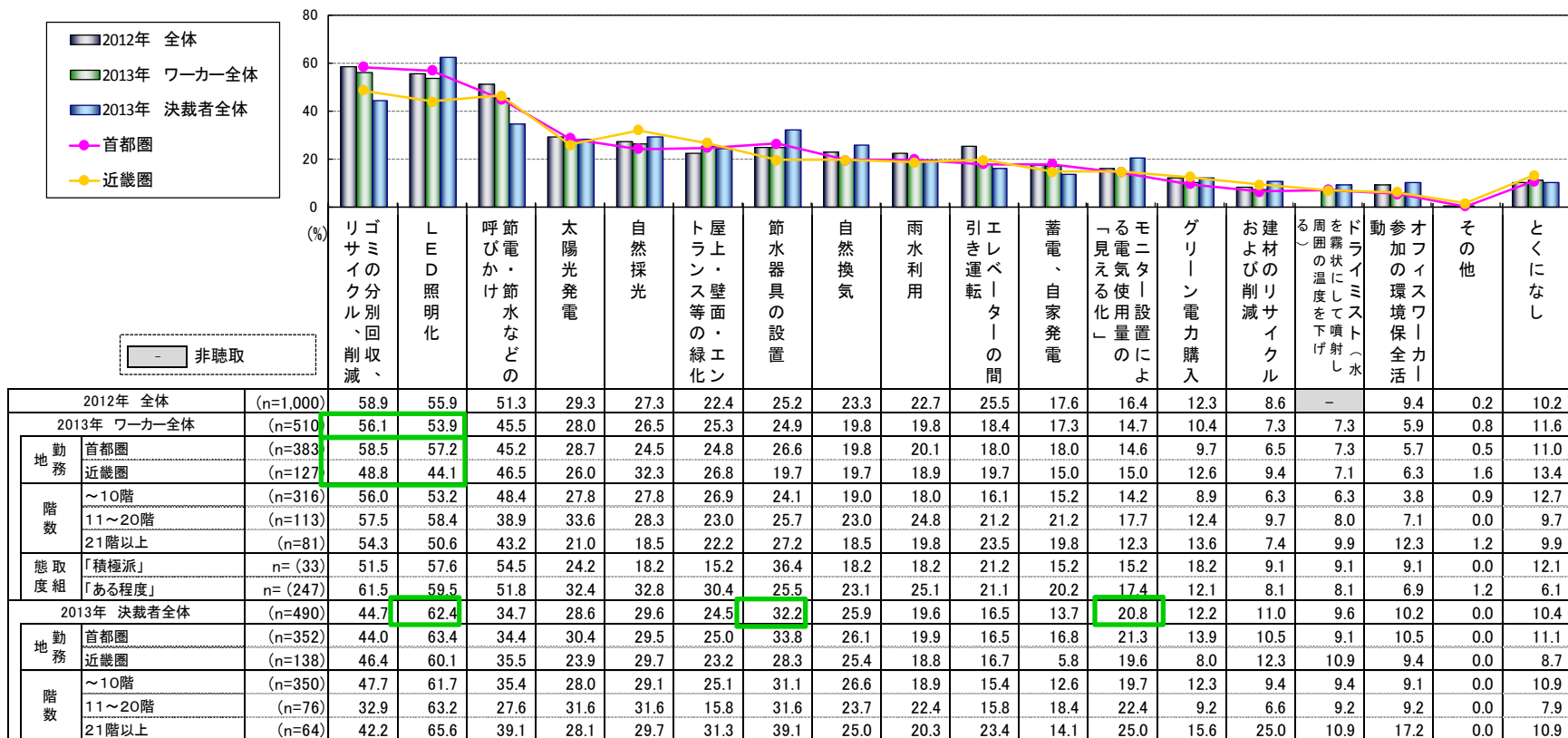
2013年  
ワーカー全体  
そう思う・計

2013年  
決裁者全体  
気にする・計

### 3. オフィスビル ③各環境取組みに対するニーズ(オフィスビル全体)

- ワーカーは、「ゴミ分別」・「LED照明化」・「節電・節水」が前年同順位のTOP3。ゴミ分別とLED照明は首都圏と近畿圏で10ポイントの差がついている。
- 決裁者では、「LED照明化」(62%)が第1位。ワーカーと比較して、「LED照明化」、「節水器具の設置」、「見える化」のスコアが高く、コスト削減メリットのある設備にニーズが高い。

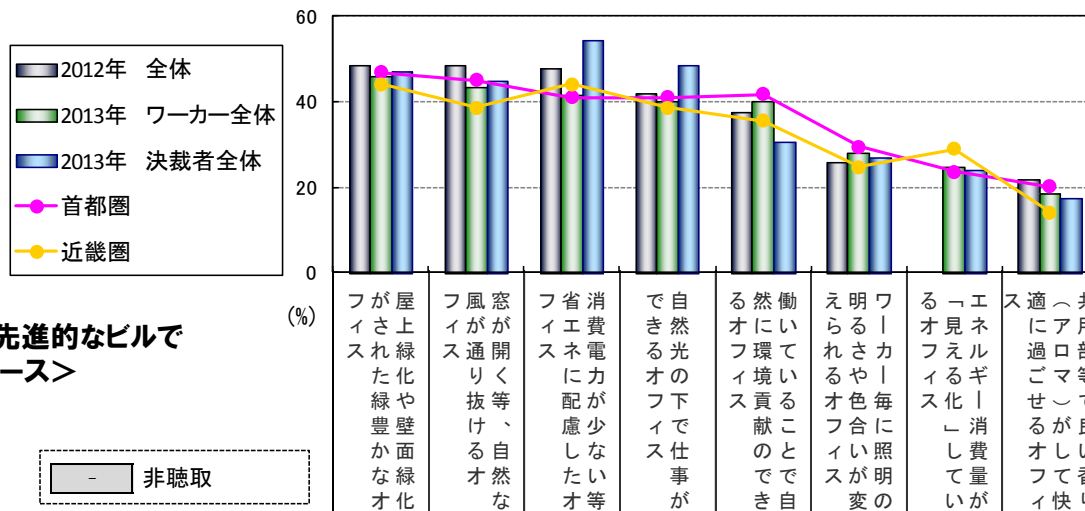
BQ4\_1 オフィスビルでの一般的な環境保全の取組としてあなたが有意義だと思われるものをすべてお選びください。／オフィスビル全体の取り組み(MA)



### 3. オフィスビル ④魅力的なオフィスビル

- ワーカーでは、「緑豊かなオフィス」(46%)以下、上位4項目が前年と同順位だがそれぞれポイント減
- 決裁者では、コスト削減メリットが享受できる「省エネに配慮したオフィス」(55%)が第1位。

BQ7 次の中で働いてみたいオフィスビルはどれですか。(MA)



<環境配慮の取組が先進的なビルで働きたい人ベース>

非聴取

2012年 全体		(n=749)	48.6	48.9	47.9	42.3	37.9	26.0	-	22.0
2013年 ワーカー全体		(n=381)	46.2	43.6	41.7	40.4	40.2	28.3	24.9	18.6
地 勤務	首都圏	(n=288)	46.9	45.1	41.0	41.0	41.7	29.5	23.6	20.1
	近畿圏	(n=93)	44.1	38.7	44.1	38.7	35.5	24.7	29.0	14.0
階 数	~10階	(n=238)	45.0	45.0	44.1	41.2	39.5	28.2	24.4	17.6
	11~20階	(n=82)	46.3	41.5	41.5	39.0	43.9	32.9	26.8	23.2
	21階以上	(n=61)	50.8	41.0	32.8	39.3	37.7	23.0	24.6	16.4
態 取 度 組	「積極派」	n= (29)	51.7	31.0	41.4	37.9	41.4	24.1	24.1	10.3
	「ある程度」	n= (213)	49.3	48.4	46.9	38.5	40.8	28.6	28.2	18.8
2013年 決裁者全体		(n=399)	47.4	45.1	54.6	48.9	30.8	27.1	24.3	17.5
地 勤務	首都圏	(n=291)	46.0	45.0	56.0	47.4	30.2	25.4	25.1	15.1
	近畿圏	(n=108)	50.9	45.4	50.9	52.8	32.4	31.5	22.2	24.1
階 数	~10階	(n=286)	46.5	45.5	57.3	47.9	32.5	26.6	26.2	16.4
	11~20階	(n=61)	45.9	44.3	45.9	50.8	31.1	26.2	19.7	23.0
	21階以上	(n=52)	53.8	44.2	50.0	51.9	21.2	30.8	19.2	17.3

## 4. 商業施設 ①環境に配慮した商業施設への意見／本格的に環境配慮に取り組んでいる施設には行こうと思う

- 本格的に環境配慮に取り組んでいる施設には行こうと思うに賛成(そう思う+まあ)は前年同様54%。
- 50代以上は62%(前回59%)と比較的高い
- 利用頻度が高い程、環境配慮の施設に行こうとする割合が増加

CQ2\_1 商業施設への意見／本格的に環境配慮に取り組んでいる施設にはなるべく行こうと思う(SA)

		2012年		2013年		・ 思う 計		
		2012年	2013年	2012年	2013年			
		(%)						
		<span style="color: #e91e63;">■</span> そう思う <span style="color: #ff9800;">■</span> まあそう思う <span style="color: #2196f3;">■</span> あまり思わない <span style="color: #9c27b0;">■</span> 思わない						
2012年	全体	n=(1000)	5.0	48.9	35.8	10.3	53.9	
2013年	全体	n=(1000)	5.6	48.7	34.5	11.2	54.3	
性別	男性	n=(585)	6.3	45.6	34.5	13.5	51.9	
	女性	n=(415)	4.6	53.0	34.5	8.0	57.6	
年代	20代	n=(60)	6.7	40.0	33.3	20.0	46.7	
	30代	n=(172)	1.7	50.6	33.7	14.0	52.3	
	40代	n=(321)	4.7	41.7	42.7	10.9	46.4	
	50代~	n=(447)	7.6	54.1	29.1	9.2	61.7	
地 住	首都圏	n=(626)	5.8	48.9	34.5	10.9	54.7	
	近畿圏	n=(374)	5.3	48.4	34.5	11.8	53.7	
年 収	~499万円	n=(444)	7.2	50.2	31.5	11.0	57.4	
	500~699万円	n=(184)	2.7	48.9	37.0	11.4	51.6	
	700~999万円	n=(150)	6.0	46.7	36.0	11.3	52.7	
	1000~1499万円	n=(56)	5.4	51.8	32.1	10.7	57.2	
	1500万円以上	n=(8)		25.0	37.5	37.5	62.5	
	不明	n=(158)	3.2	45.6	39.2	12.0	48.8	
施 設 頻 度 利 用	都心商業&郊外SC月1度以上	n=(70)	14.3	52.9	20.0	12.9	67.2	
	都心商業のみ月一度以上	n=(107)	4.7	56.1	27.1	12.1	60.8	
	郊外SCのみ月一度以上	n=(176)	3.4	52.8	33.5	10.2	56.2	
	両方それ以外	n=(647)	5.4	45.9	37.6	11.1	51.3	
態 取 度 組	「積極派」	n=(43)		32.6	51.2	11.6	4.7	83.8
	「ある程度」	n=(494)	6.3	60.5	27.1	6.1	66.8	

2013年 全体  
思う・計

## 4. 商業施設 ②環境に配慮した商業施設への意見／今時、取組をするのは当たり前だと思う

- 今時、取組をするのは当たり前だと思うに賛成(そう思う+まあ)は前年同様81%。
- 年代が高くなるほど賛成派が増加し、50代では87% (前回86%)にのぼる。
- 利用頻度による意識の差はあまり無く、取り組むのは当然という共通の認識となっている。

CQ2\_3 商業施設への意見／今時、取組をするのは当たり前だと思う(SA)

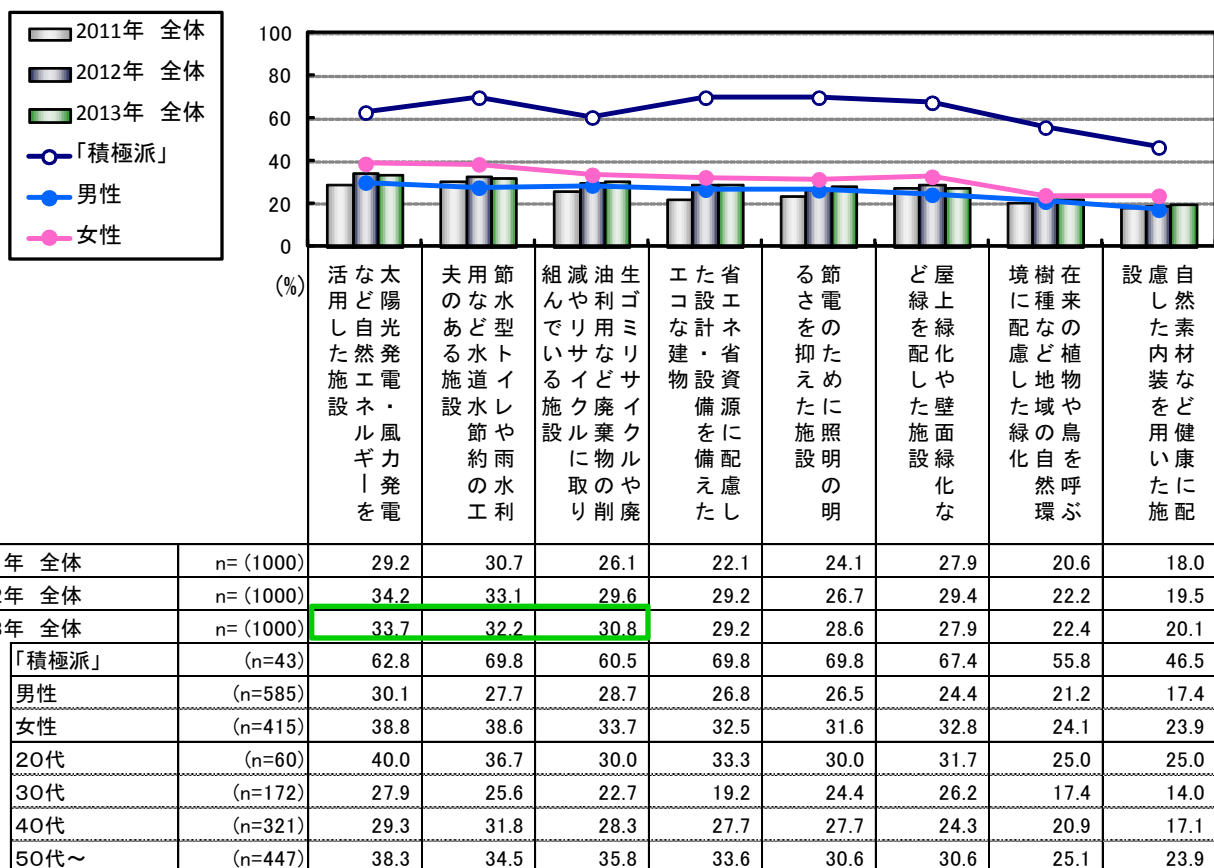
			(%)				・ 計 ・ 思う ・ 思う
			■ そう思う	■ まあそう思う	■ あまり思わない	■ 思わない	
2012年	全体	n= (1000)	20.3	59.8	15.1	4.8	80.1
2013年	全体	n= (1000)	21.7	58.8	15.3	4.2	80.5
性別	男性	n= (585)	22.4	56.6	15.6	5.5	79.0
	女性	n= (415)	20.7	61.9	14.9	2.4	82.6
年代	20代	n= (60)	18.3	46.7	30.0	5.0	65.0
	30代	n= (172)	12.8	60.5	18.6	8.1	73.3
	40代	n= (321)	20.2	57.6	18.7	3.4	77.8
	50代~	n= (447)	26.6	60.6	9.6	3.1	87.2
地 居 住	首都圏	n= (626)	24.1	58.6	13.9	3.4	82.7
	近畿圏	n= (374)	17.6	59.1	17.6	5.6	76.7
年 収	~499万円	n= (444)	21.6	57.7	16.7	4.1	79.3
	500~699万円	n= (184)	22.3	59.2	14.1	4.3	81.5
	700~999万円	n= (150)	21.3	63.3	11.3	4.0	84.6
	1000~1499万円	n= (56)	26.8	51.8	19.6	1.8	78.6
	1500万円以上	n= (8)	37.5	50.0	12.5		87.5
	不明	n= (158)	19.0	60.1	15.2	5.7	79.1
施 設 利 用 頻 度	都心商業&郊外SC月1度以上	n= (70)	28.6	51.4	15.7	4.3	80.0
	都心商業のみ月一度以上	n= (107)	21.5	63.6	12.1	2.8	85.1
	郊外SCのみ月一度以上	n= (176)	25.6	52.8	17.6	4.0	78.4
	両方それ以外	n= (647)	19.9	60.4	15.1	4.5	80.3
態 取 組 度	「積極派」	n= (43)	60.5		32.6	7.0	93.1
	「ある程度」	n= (494)	26.9	64.0	7.7	1.4	90.9

2013年 全体  
そう思う・計

## 4. 商業施設 ③各環境取組みに対するニーズ

- 「自然エネルギーを活用」(34%)、「水道水節約の工夫のある」(33%)、「廃棄物削減、リサイクル」(31%)  
上位3項目は前年同順位。
- 【積極派】は、各項目で全体よりもスコアが2倍前後高い。

CQ3 「商業施設」の環境への取組みとして、各項目についてあなたはどの程度必要だと思いますか。／「ぜひ必要」と回答した割合 上位8項目



## 4. 商業施設 ④魅力的な商業施設

- 前年同様、「緑に包まれた森のような商業施設」「周囲の自然を取り込んだオープンテラスのある商業施設」など自然を感じられる施設が人気。

CQ4 次のような環境への取組みをしている商業施設についてどのように思われますか。

(n=1000)	【是非行ってみたい】		【とくに行きたいと思わない】	【2013年】 行きたい・計	【2012年】 行きたい・計	【前年差】 行きたい・計	【2011年】 行きたい・計
	(%)	(%)					
屋上や壁が緑に包まれた森のような商業施設	15.7	60.7	23.6	76.4	75.6	↑ 0.8	73.8
周囲の自然を取り込んだオープンテラスのある商業施設	16.9	55.6	27.5	72.5	76.2	↓ -3.7	71.7
買物をしながら環境貢献できる仕組みがある商業施設	14.4	56.7	28.9	71.1	71.4	↓ -0.3	67.9
足踏み発電や風力発電など先進的な環境配慮設備の見られる商業施設	14.6	53.1	32.3	67.7	67.8	↓ -0.1	65.8
オーガニックレストランや自然素材、安全な食材を扱う商品が揃う商業施設	13.7	52.8	33.5	66.5	65.8	↑ 0.7	65.0
建物に大きな吹き抜けがありジャングルようになった商業施設	11.3	50.4	38.3	61.7	61.6	↑ 0.1	61.3
無農薬の菜園で収穫体験のできる商業施設	11.2	43.7	45.1	54.9	51.5	↑ 3.4	51.2

## 5. リゾートホテル ①環境に配慮したリゾートホテルへの意見 / 本格的に取り組んでいる施設には行こうと思う

- 「本格的に取り組んでいる施設には行こうと思う」に賛成(そう思う+まあ)は68%
- 20代では賛成が50%と他年代より低い。
- 取組態度「積極派」では、賛成が88%(前回91%)にのぼり、その中でも「そう思う」(TOPBOX)が41%。

DQ3\_1 リゾートホテルへの意見 / 本格的に環境配慮に取り組んでいる施設にはなるべく行こうと思う(SA)

			(%) <span style="color: #e91e63;">■</span> そう思う <span style="color: #ff9800;">■</span> まあそう思う <span style="color: #2196f3;">■</span> あまり思わない <span style="color: #9c27b0;">■</span> 思わない				・ 計 ・ そ ・ う ・ 思 ・ う
2012年	全体	n= (1000)	8.4	58.5	27.4	5.7	
2013年	全体	n= (1000)	8.6	59.2	26.6	5.6	67.8
性別	男性	n= (510)	9.2	58.0	26.9	5.9	67.2
	女性	n= (490)	8.0	60.4	26.3	5.3	68.4
年代	20代	n= (86)	5.8	44.2	37.2	12.8	50.0
	30代	n= (176)	5.7	65.3	23.3	5.7	71.0
	40代	n= (308)	8.4	56.8	28.2	6.5	65.2
	50代~	n= (430)	10.5	61.4	24.7	3.5	71.9
地 居 住	首都圏	n= (696)	8.0	60.3	26.1	5.5	68.3
	近畿圏	n= (304)	9.9	56.6	27.6	5.9	66.5
年 収	~499万円	n= (272)	8.8	57.4	27.2	6.6	66.2
	500~699万円	n= (180)	6.7	63.9	25.0	4.4	70.6
	700~999万円	n= (238)	8.8	55.5	29.8	5.9	64.3
	1000~1499万円	n= (123)	6.5	62.6	22.8	8.1	69.1
	1500万円以上	n= (49)	14.3	51.0	24.5	10.2	65.3
	不明	n= (138)	10.1	63.0	26.1	0.7	73.1
利 度 用 頻	2年に1回程度	n= (374)	6.4	59.6	29.4	4.5	66.0
	年間1回程度	n= (411)	9.2	57.9	27.0	5.8	67.1
	年間2回以上	n= (174)	12.1	58.0	21.3	8.6	70.1
態 取 度 組	「積極派」	n= (58)	41.4	46.6	10.3	1.7	88.0
	「ある程度」	n= (527)	9.7	68.9	19.0	2.5	78.6

2013年 全体  
そう思う・計

## 5. リゾートホテル ②環境に配慮したリゾートホテルへの意見／取組をするのは当たり前だと思う

- 「今時、取組をするのは当たり前だと思う」に賛成(そう思う+まあ)は84%と多数。
- 20代では賛成が73%と、比較的低い。
- 利用頻度による意識の差はあまり無く、取り組むのは当然という共通の認識となっている。

DQ3\_3 リゾートホテルへの意見／今時、取組をするのは当たり前だと思う(SA)

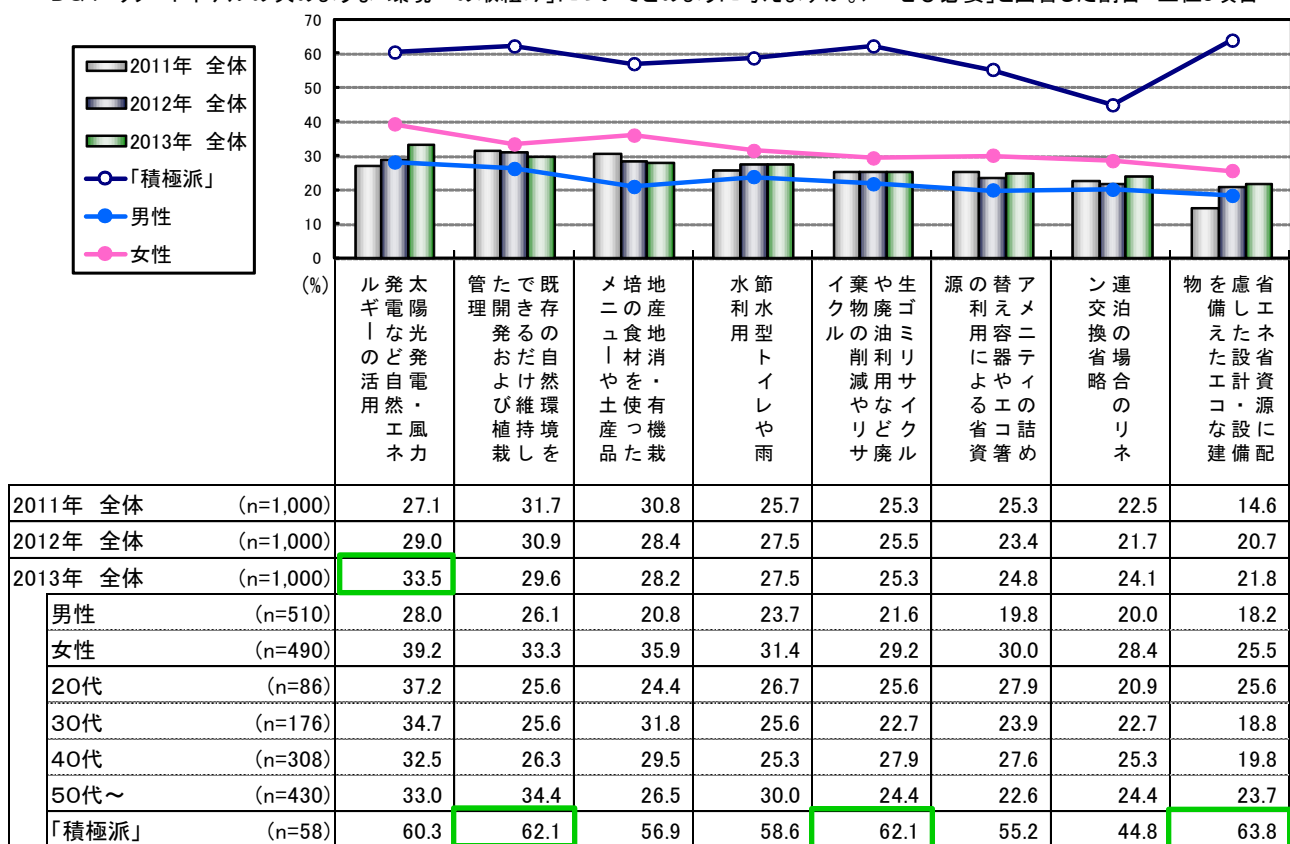
		n=	(%)				・そ 計 う 思 う
			■ そう思う	■ まあそう思う	■ あまり思わない	■ 思わない	
2012年 全体		n= (1000)	21.1	62.4	13.6	2.9	83.5
2013年 全体		n= (1000)	21.9	61.7	13.4	3.0	83.6
性別	男性	n= (510)	22.4	60.6	13.9	3.1	83.0
	女性	n= (490)	21.4	62.9	12.9	2.9	84.3
年代	20代	n= (86)	17.4	55.8	19.8	7.0	73.2
	30代	n= (176)	18.8	65.9	12.5	2.8	84.7
	40代	n= (308)	19.2	62.7	14.9	3.2	81.9
	50代~	n= (430)	26.0	60.5	11.4	2.1	86.5
地 居住	首都圏	n= (696)	22.1	62.1	12.8	3.0	84.2
	近畿圏	n= (304)	21.4	60.9	14.8	3.0	82.3
年 収	~499万円	n= (272)	24.6	59.2	12.1	4.0	83.8
	500~699万円	n= (180)	20.6	60.0	16.7	2.8	80.6
	700~999万円	n= (238)	19.3	62.6	14.3	3.8	81.9
	1000~1499万円	n= (123)	22.8	62.6	11.4	3.3	85.4
	1500万円以上	n= (49)	26.5	61.2	10.2	2.0	87.7
	不明	n= (138)	20.3	66.7	13.0		87.0
利 用 頻 度	2年に1回程度	n= (374)	17.1	63.9	16.3	2.7	81.0
	年間1回程度	n= (411)	22.4	62.5	11.9	3.2	84.9
	年間2回以上	n= (174)	31.6	52.3	12.1	4.0	83.9
態 取 度 組	「積極派」	n= (58)		62.1	31.0	6.9	93.1
	「ある程度」	n= (527)	24.9	64.7	9.9	0.6	89.6

2013年 全体  
そう思う・計

## 5. リゾートホテル ③各環境取組みに対するニーズ

- 「自然エネルギーの活用」(34%)が一昨年より上昇し続け、第1位となった。
- いずれの項目でも、男性より女性のスコアが高く、意識の高さが伺える。
- 【積極派】は、各項目で全体よりもスコアが2倍前後高い。

DQ4 リゾートホテルの次のような「環境への取組み」についてどのように考えますか。／「ぜひ必要」と回答した割合 上位8項目



## 5. リゾートホテル ④魅力的なリゾートホテル

- 行きたい・計(少し高くても+高くなければ)では、「人工的な設備を極力排した」、「自然エネルギーだけを利用」など、環境に配慮したホテルが人気。
- 「少し高くても行ってみたい」だけだと「環境学習」「無農薬菜園で収穫」など体験型が人気。  
また、前年より全てのスコアが上昇

DQ5 次のような取組を行っている「リゾートホテル」についてどのように思われますか。

(n=1000)	(%)	<span style="color: #e91e63;">■</span> 少し高くても行ってみたい <span style="color: #e91e63;">■</span> 高くなければ行って見たい <span style="color: #2196f3;">■</span> とくに行きたいと思わない		【2013年】	【2012年】	【前年差】	【2011年】
		行きたい・計	行きたい・計	行きたい・計	行きたい・計	行きたい・計	
周囲の自然環境に配慮し空調など人工的な設備を極力排したリゾートホテル	11.0	66.9	22.1	77.9	80.4	↓ -2.5	78.2
自然エネルギーだけを利用したリゾートホテル	9.6	68.2	22.2	77.8	77.4	↑ 0.4	80.3
宿泊することで環境貢献できる仕組みがあるリゾートホテル	10.4	64.2	25.4	74.6	74.6	↑ 0.0	77.4
自然観察・体験活動を通して環境学習ができ、環境保全活動にも参加できるリゾートホテル	13.2	55.2	31.6	68.4	69.6	↓ -1.2	67.6
無農薬菜園で収穫体験ができるリゾートホテル	12.8	51.2	36.0	64.0	63.4	↑ 0.6	67.9